



Vol.15~~2011.6

こんにちは、メルマガ6月号をお届けします。
新学期が始まった今、皆さんが気になっているのは新入部員の獲得状況だと思いますが、今年9人の新入部員が入部してくれました。ただ、残念なことにメッチェンはゼロです(涙)サーオリの時点ではワングルに興味のある女の子が何人か来てくれたのですが…
しかし、今年の一回生は今の時点ですでにキャラの濃い人ばかりで、上回生にも積極的に話しかけてくれます。一回生同士もとても仲が良く、これからのワングルを支えていく非常に有望な人材だと期待しています。

今回は春PW、新歓合宿について一回生の感想を中心にお伝えします。

== Index ==

■ 春PW	～ポテトチップスって焼いたらおいしいのかな?～
■ 新歓合宿	～うわっ、缶詰の中に雨水が…～
■ 現役部員アンケート	～★56期★～

=====

2011/4/16 春PW
～ポテトチップスって焼いたらおいしいのかな?～

春PWとは、新入生にワングルの雰囲気を知ってもらうことを目的とした山行で、12人の新入生が参加してくれました。今年妙見山に行ってきました。
9時に石橋駅に集合し、各Partyで自己紹介をした後、妙見口駅まで電車で移動しました。そしていよいよ山頂を目指して山行開始!!天候も良く、桜の名所というだけあって桜もきれいでとても楽しい山行ができました。一回生は久しぶりの運動で少ししんどそうな様子でしたが、同じ一回生や上回生と話をしながら頑張って登ってくれました。頂上に到着した後はその近くにあるクッキングセンターでバーベキューをし、他のPartyの人とも交流しました。帰りはケーブルを使って駅まで戻りました。どの一回生もとても楽しんでくれたようで良かったです。

(文責 笹原)

2011/5/21-22 新歓合宿
～うわっ、缶詰の中に雨水が…～

新歓合宿はいつものように武奈ヶ岳に行きました。一回生にとってはワンゲルに入部して初めての合宿です。1日目は坊村から武奈ヶ岳を通過して暮雪山荘で泊まり、2日目はイン谷口へ下りました。この時期にしては気温が高く、坊村からワサビ峠までの急坂では身体中汗だくになりながら進みました。武奈ヶ岳山頂からの景色は良いとも悪いとも言えない、微妙な景色でしたが1日目は何とか天気もってくれ良かったです。しかし、2日目は途中で雨が降り出し、一回生にとっては精神的につらい一日になったことでしょう。それでもどの一回生もこの合宿を楽しんでくれたようで、大勢で山に登るというワンゲルの楽しさを知ってもらえた合宿になったと思います。



(文責 笹原)

新歓合宿はワンゲル部員として初めての山行で、仲間とともに活動を行うことの愉しさ、また不安定な自然の厳しさ、美しさを学びました。ワークや渡渉など初めての事ばかりで良い経験になったと思います。武奈ヶ岳山頂に着いたらちょっと涙ぐんでしまいました。夏合宿だともっと感動して大泣きしそうです。これからももっともっといろんな経験をして感動して泣いたり笑ったりしたいな、と思えた山行でした。 (56期 理2 山下聡史)



ワンゲルで合宿をするのはこれが初めてで、合宿前は「ワンゲルの空気に馴染めるだろうか」「体力的に大丈夫か」「阪大の山小屋はきれいだろうか」などと不安が尽きませんでした。いざ行ってみると先輩達は親切で面白く、すぐにパーティーの人たちと馴染めました。阪大の暮雪山荘も、とても広くて、快適に過ごすことができました。山の自然も素晴らしく、本当にワンゲルに入って良かったと思います。

(56期 法1 梅沢 啓)

はじめての合宿ということで前日までは無事に帰って来られるかと不安になり、登り始めた時もいくら登っても風景は変わらず、憂鬱な気分になっていました。しかし、先輩と楽しい話をしたり、普段は見ることのできない植物を発見したりしているうちに楽しい気持ちになっていました。また、山で食べるご飯は美味しかったです。住宅に囲まれた豊中

キャンパスにいただけでは味わえない自然と触れ合えると思うと、これからの合宿が楽しみです。(56期 文1 林 貴哉)

自分の体力で果たして終えられるのだろうか、前日は不安でしたが、実際に登り始めてみると先輩が一回生にペースを合わせて下さるので不安を感じることなく登れました。山の空気はとても気持ちがよく、稜線に上がって遠くまで見通せるようになった時の周りの風景を見て、登ってきてよかったと感じました。登山中はもちろん、小屋の中でも楽しすぎせ、次が待ち遠しくなる合宿でした。(56期 工 堀 裕貴)

僕は中学、高校と山に登るという経験がなく、今回の新歓合宿が初めての登山だったので自分の体力で大丈夫だろうか前日は不安でした。しかし、実際に登ってみると自然の中で歩くことがとても気持ちいいものと感じられ、とても楽しく登ることができました。新歓合宿を通して山がより好きになり、これから登っていく、より高く大きな山への楽しみが強いものとなりました。(56期 経 増井 慎一)

山登り経験はほとんどなく、新歓のバーベキューの山登りでもしんどかった僕が体力的に最後までついていけるか不安でした。山に登り始めるといきなり急な坂がずっと続きつらかったけれど、山頂付近になると視界が開けて景色を楽しみながら登りきることが出来ました。下山時には雨が降って少し怖かったけれど、楽しく達成感のある合宿でした。これからは標高二千メートル以上の高い山に登って雲海を見てみたいなと思いました。



(56期 工 出口 亮)

現役部員アンケート

～★56期★～

今回は56期新入部員にアンケートを行いました。自分の入部したての頃を思い出しつつ、今年も個性豊かなメンバーになったと感じています。

・ワンゲルに入部したきっかけは？

アウトドアに惹かれたから。活動が多様であるから。高校山岳部からの流れ。植物が好きだから。気が付いたら部室で麻雀をうっていた。

・これからやってみたいワンゲル活動は？

登山。川下り。自転車旅行。ステーション。みんなで野球。テントで野外麻雀。

- ・暮雪山荘の正直な感想は？

きれいだった。立派。丸太小屋を想像していた。ボロかった。

想像以上にしっかりしていた。本当に山の中に建っていた…。

- ・行ってみたい山は？

北海道、東北方面の山。日本アルプス。恐山。槍。

- ・新歓合宿の歩荷は重かった？

Yes 3人 No 3人 ? 2人

- ・先輩の第一印象は？

優しく楽しい人が多い。しっかりしている。趣味が多彩で個性豊か。面白い。個性が強い。

- ・OBさんに質問

ワングルをされていて良かったと感じたときはいつですか？

好きな野球選手は誰ですか？

今回は春PW、新歓合宿と56期メインの記事となりました。楽しんでいただけたでしょうか？

さて、前回のアンケートは『忘れられない雪山は？』でした。やはり冬PWの比良山という回答が多かったです。普段の山行とは全然違うラッセルやワカン歩行が楽しかったようですね。また、L養で苦闘した高見山の雪化粧が印象的だった方もおられるようです。今の冬PWの元となっているスキーPWでの活動を挙げている方もおられました。スキー場から小屋までラッセルをし、梅池でスキーをしていたそうです。現在は冬PW以外では雪山登山は行っていませんので、すごく新鮮で楽しく読ませていただきました。ご協力ありがとうございました。

次回のアンケートは『新歓合宿での思い出は？』です。私は1回生の時の新歓では、ただひたすら足元を見ながら登ったので、山頂での景色がとても印象に残っています。今回2回生として登った時は顔も上げられるようになり、また違った武奈ヶ岳を楽しめました。上回生の時のものでも構いませんのでぜひご協力下さい。

〈 <http://www.ouvv54.org/enquete/enqform1106.html> 〉

メルマガ委員：大江康子、笹原貴志